人口動態調査事務システム標準化検討会（第1回）

議事概要

日 時：令和6年9月18日（水）14:00～15:00

場 所：Web会議及び厚生労働省21階会議室

出席者（敬称略）

【構成員】（16名）

岡村 智教（座長）	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授
丹野 一洋（欠席）	福島県いわき市市民協働部市民課 主事
齊藤 綾子	千葉県印旛郡酒々井町税務住民課
寺尾 善実	東京都新宿区地域振興部戸籍住民課 戸籍主査
背黒 勝博	東京都大田区区民部戸籍住民課戸籍住民担当（戸籍）
金内 久美子	東京都江戸川区生活振興部区民課戸籍管理係 主任
保科 慎子	東京都渋谷区区民部住民戸籍課戸籍係
安宅 巧	三重県津市市民部市民課住民窓口担当
下野 博（欠席）	大阪府大阪市市民局総務部 担当係長
宮脇 睦子	佐賀県伊万里市市民課窓口係
新城 亮子	沖縄県国頭郡今帰仁村住民課 課長補佐
後藤 奈緒子	日本電気株式会社パブリックシステム開発部門住民情報システム開発統括 部住民情報 SaaS グループ
諏訪 兼也	株式会社日立システムズ公共・社会事業グループ公共情報サービス第一事業 部公共パッケージ開発第三本部パッケージ開発第七部
高澤 圭介	富士通 J a p a n 株式会社 P u b l i c & E d u c a t i o n 事業本部住 民情報サービス事業部 マネージャー
水村 将樹	富士フイルムシステムサービス株式会社公共事業本部システム開発部仕様 統括グループ グループ長
根岸 啓	株式会社両毛システムズ公共ソリューション第1課 係長

【オブザーバー】（16名）

米田 圭吾	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム基盤チーム 統括官付参事官付 参事官補佐
津田 直彦	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム基盤チーム 統括官付参事官付 参事官補佐
千葉 大右	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム基盤チーム 地方業務標準化エキスパート

池端 桃子	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム基盤チーム 地方業務標準化エキスパート
丸尾 豊	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐
中川 瑛	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐
青山 琢磨	法務省民事局民事第一課 補佐官（戸籍担当）
島添 悟亨	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
飯野 一浩	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
篠原 智仁	厚生労働省健康・生活衛生局生活衛生課 生活衛生調整企画官
大塚 憲孝	厚生労働省健康・生活衛生局生活衛生課 課長補佐
金井 智洋	日本加除出版株式会社 顧問
鎌田 真隆	厚生労働省統計管理官（政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室長）
坂田 史恵	厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室 室長補佐
木下 容子	厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室 統計情報調整官
青木 幸一	厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室 技術開発係長

【議事次第】

1. 開会（挨拶）
2. 議事
 - （1）方針説明と標準仕様書全体に影響する箇所の説明
 - （2）アンケート結果の説明
 - （3）個別論点の説明
3. 閉会（まとめ）

【意見交換（概要）】

（議事（1）について）

○事務局から、方針説明と標準仕様書全体に影響する箇所の説明が行われ、参加者からの意見、質問等はなかった。

（議事（2）について）

○事務局から、アンケート結果の説明が行われ、参加者からの意見、質問等はなかった。

（議事（3）について）

○事務局から、個別論点の説明が行われ、参加者からの意見、質問等はなかった。

（その他）

○機能ID：0380272の調査票の検索機能について、標準仕様書で示されている検索キーの全てで検索できるようにするのか又は標準仕様書で示されている検索キーのうち任意の検索キーで検索できるようにするのか、どちらで機能を実装することを想定しているか。

(構成員)

標準仕様書で示している検索キーの全てで検索できることを想定している。なお、機能についてはどのベンダーでも横並びで統一した方がよいと考えている。(事務局) 承知した。(構成員)

3. 閉会(まとめ)

事務局より連絡事項について説明が行われた。

- ・ 指摘事項は、(資料4) 指摘事項管理表に記入の上、令和6年10月4日(金)納期で事務局にメール送付をお願いいたします。
- ・ 取りまとめの際に構成員の皆様個別に御相談させていただくこともあるかと思いますが、引き続き御協力をお願いいたします。

第2回検討会は、令和6年10月下旬を予定しています。詳細は後日連絡いたします。

なお、構成員からの意見が少ない場合は第2回検討会を書面開催とする可能性があります。

以 上